

児童生徒とともに、これまで積み上げてこられた授業の様子はいかがでしょう。「めあて-まとめ・振り返り」のある授業を軸として、児童生徒が主役となる授業展開になっているでしょうか。大きな行事が終わりつつあるこの時期に見つめ直しいただき、年度末へ向けてさらに授業力のスキルアップを目指し、児童生徒の資質・能力の育成につなげましょう。

学力向上推進校事業に係る授業研究会を11月1日、米子市立彦名小学校で開催します。当日の授業公開へ向けて、「めあて-まとめ・振り返り」を軸とした授業構成や板書計画など、授業力のスキルアップに取り組まれています。9月、10月に実施した授業における板書の変容をもとに、学習の流れや本時のポイントが残る板書の構造化についてお伝えします。

【9月の板書】 第2学年「たし算とひき算のひっ算(2)」

め 一のくらしも十のくらしもくり上がるひっ算のしかたを考えよう。

ま 一のくらしと十のくらしをじいばんにくり上げる。

よ $\begin{array}{r} 65 \\ +88 \\ \hline 153 \end{array}$ $\begin{array}{r} 46 \\ +89 \\ \hline 135 \end{array}$

と $\begin{array}{r} 65 \\ +78 \\ \hline 143 \end{array}$

かぞえほう、ひっ算ことば

① 一のくらしは $5+8=13$
十のくらしにくり上げる

② 十のくらしは $1+6+7=14$
百のくらしにくり上げる

③ こたえは143

めあてとまとめが書かれているし、図や式や言葉も書いてあるからよいと思うのだけど…?

子どもの目線で見ると…

大事なところはどこだったかな?

式や図や言葉を関連させながら本時の学習内容を理解できるように、書く位置や色づかい等の構成を考えることが大切です。

【10月の板書】 第2学年「かけ算(1)」

め かけられる数が5のとき、答えがいくつつふえるかしらべよう。

ま かけられる数が5のときは、答えは5ずつふえる。

と 1台分から4台分

よ 5台分から9台分

5×5=25
5×6=30
5×7=35
5×8=40
5×9=45

5×1=5
5×2=10
5×3=15
5×4=20

5+5+5+5+5

全体的にすっきりしたし、子どもたちの気づきや考えをどうつなげていか、流れもイメージできるな。

式から見つけたことやキーワードを使ってまとめられたよ。

改善点①
図と式を対応させるように板書している。

式の意味を図でイメージしながら理解することができます。

改善点②
本時で重点的に扱う内容を中心に構成されている。

本時のねらいの達成に向けて、子どもの気づきや考えを関連させて考えやすくなります。

改善点③
まとめにつながるキーワードが板書されている。

まとめを考える時に、本時の学習を振り返り、ポイントを確認することができます。

板書は、児童とともに授業を展開する上で、重要なツールとなります。児童の気づきや考え方を表現する場として、また、それらを共有しながら個々の考えや理解を深めていくことができるように、授業構想と合わせて板書の構造化も考えてみましょう。

☆日々の授業、校内研究会、学年会などの機会に、授業を振り返るツールとして活用するのも効果的です。